

# 第3学年 学級活動指導案

平成27年12月 1日 (火) 第5校時

- 1 題材 「将来に生きて働く資質・能力とは」  
内容 (3) 学業と進路 (オ 主体的な進路の選択と将来設計)

## 2 題材設定の理由

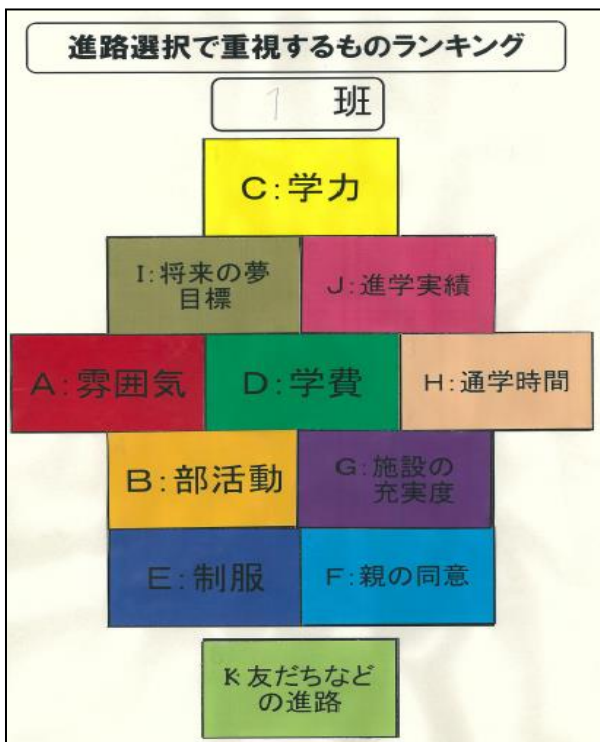
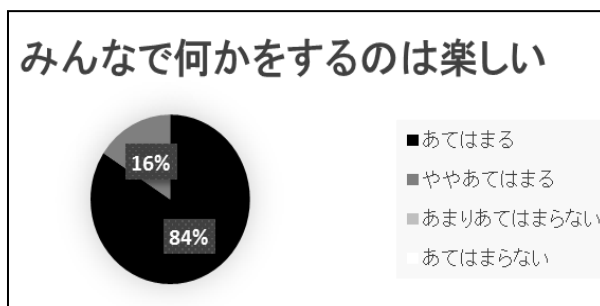
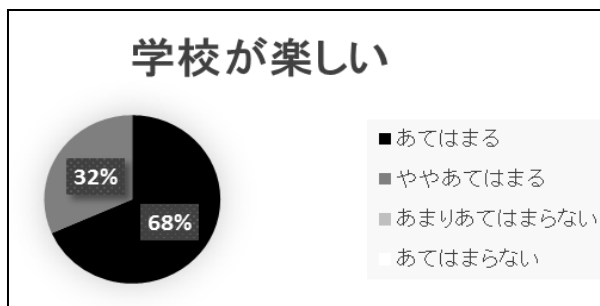
### (1) 生徒の実態

本学級の生徒は、明るく元気で、意欲的な生徒も多く、各種代表や実行委員などにも進んで立候補し、自主的に活動に取り組もうとしている。その反面、一人一人の個性が強く、お互いのことを考えながら調和を図るという場面では、つまずきも多い。しかし、各行事の取組の中で、本音を語り合ったり、意見をぶつけ合ったりするといった経験を通して、お互いを理解し、学級の団結力も増してきた。「学校生活に関するアンケート調査」においても、「学校が楽しい」「みんなで何かをするのは楽しい」という質問に対して前向きな回答が多く見られた。

このような経験から、進路選択や受験勉強という点でも、学級全員で協力していこうという姿が見え、3年〇組という「チーム」として、進路実現を目指しているところである。

第3学年では、「生徒に夢をもたせる」をキーワードにして進路指導を行っている。生徒たちは、これまで、総合的な学習の時間や学級活動を通して、進路を選択する上で重視するものをランキング形式でまとめたり、互いの勉強法についての意見交換を行ったりしてきた。昨年の不安に関するアンケート調査を実施したところ、約50%の生徒が依然として希望する進路先を決められなかったり、迷ったりしていることが分かった。

また、同調査において、最も不安が強かった部分が「受験で自分の力が通用するか心配である(89%)」「学力がどのくらい伸びるか分からない(86%)」という項目であった。併せて、10月に行った「進路選択で重視するものランキング」においても、6つの生活班のうち、3つの班が「学力」の項目を1位に挙げ、残り3つの班が2位に挙げる結果であった。生徒側には「進路は入学試験の点数や中学校での学習成績で決まるもの」という見方があると思われる。例えば、それが現実だとしても、「進路の選択・決定に当たっては、将来を見据えた進路計画が大切である」ということを指導し、生徒一人一人に主体的な生き方を模索させたい。



## 【進路選択上の不安に関するアンケート調査（集計結果）】

番号	質問項目	10月	11月
(1)	現在の進路選択は、自分なりに納得がいくのかどうかわからない。	32%	32%
(2)	高等学校への進学か、その他の上級学校への進学か、就職か、まだ迷っている。	2%	2%
(3)	希望の進路先に合格できるか、不安である。	70%	78%
(4)	現在の自分の学力で、どの程度の上級学校へ行けるかわからない。	32%	22%
(5)	行きたい進路先が、まだよくわからない。	32%	14%
<b>(6)</b>	<b>受験で自分の力が通用するか心配である。</b>	<b>89%</b>	<b>89%</b>
<b>(7)</b>	<b>自分の学力がどのくらい伸びるかわからない。</b>	<b>86%</b>	<b>86%</b>
(8)	自分の選択は単なる妥協でないだろうか、と考えることがある。	43%	22%
(9)	現在の進路選択の他に、もっとよい選択があるのではないかと、考えることがある。	54%	65%
(10)	受験勉強のやり方が、未だにわからない。	54%	65%
(11)	塾に行かなくて、いいのだろうか。	14%	14%
(12)	学費の高い学校や、自分に適さない学校に入ってしまうか、不安である。	19%	19%
(13)	保護者の期待に応えられるか、不安である。	35%	30%
(14)	保護者のプレッシャーに耐えられるかどうか、不安である。	16%	19%
(15)	自分の気持ちや考えを聞かずに、周囲がいろいろ言うのが嫌だ。	24%	14%
(16)	友だちと同じ学校に行けるだろうか、と考えることがある。	14%	8%
(17)	友だちと同じ学校に行くか、自分が本当に行きたい学校に行くべきか、迷うことがある。	16%	2%
(18)	自分の選択は間違っていないだろうか、と考えることがある。	59%	65%
(19)	希望して入った学校が、自分の想像と違っていたらどうしようかと、考えることがある。	57%	65%
(20)	入った学校で人間関係がうまくできるかどうか不安である。	73%	73%
(21)	学校の先生がきちんと対応してくれるか不安である。	24%	16%
(22)	自分が今、何をすべきなのか全然わからない。	35%	14%
<b>(23)</b>	<b>希望する進路先が決まっていない。もしくは、迷っている。</b>	<b>51%</b>	<b>54%</b>

### (2) 題材について

進路指導は、自分の将来の生き方や生活について夢や希望をもつことができるよう、指導・援助していくものである。しかし、中学校第3学年のこの時期においても、生徒の大半は、「将来、どのように生きていくのか」「どのように自己実現を果たしていくのか」ということを明確に示すことができず、「とりあえず高校に進学する」という選択をしがちである。そのため、生徒の実態にも示したように、進路実現に必要なものを問われると「学力」と答える傾向が強い。生徒に自信をもたせ、主体的に将来どのような生き方をしていきたいのかを考えさせ、その実現に向けた進路計画を立てさせることで、「今、身に付けておくべき生きて働く資質や能力とは、どのようなものなのか」を考えさせる必要がある。

そこで、本時は「採用選考（面接）」のロールプレイ（役割演技）を行うこととした。仮想の事業所の「面接による採用選考」を生徒数名で演技させ、5人の中から3人を事業所で採用するというストーリーとする。この内容は、構成的グループエンカウンターを活用した授業実践事例として一般に多く紹介されているものである。構成的グループエンカウンター等の教育相談的な手法については、道徳や学級活動の時間に導入される例が見られるが、その手法を導入したことによって、学習指導要領が求める1単位時間の基本的な展開が崩れてしまわないよう配慮する必要がある。本題材では、本来の構成的グループエンカウンターで行われるエクササイズ、シェアリングを、通常の学級活動で見られる単純な生徒の役割演技とグループでの話し合いとし、集団思考から自己決定へとつなぐ活動内容(2)(3)の基本的な流れに留意した50分間の指導過程を考えた。“人を雇う立

場、になって考えることで、学力検査の結果は、将来に生きて働く資質・能力の一部であって、自分の思い描く将来の希望や、自分自身の適性、社会への貢献・寄与する姿勢など、それ以外にも大切にすべきものがあることに気付かせたい。そして、一人一人の個性を生かそうとする姿勢、夢や希望をもって実現に向けて努力する姿勢、それを支える人間関係を大切にしていける姿勢を身に付けさせたい。

また、個々の進路の実現へ向けて学級集団全体で協力している雰囲気大切にしていきたい。今回の題材は、活動内容（3）の当たるもので、大方は教師主導で進めて行くことが多い内容だが、敢えて学級活動委員会を機能させ、授業の進行を生徒に任せることにした。進路の選択・決定は、個人で解決すべき課題であるが、現在、皆が等しく直面している問題について学級集団全体で考えさせることで、学級のよさ、集団のよさに気付かせながら、生徒個々の自己決定につなげて行く。課題の提示などにおいて、適宜、教師の助言も入れながら、学級活動委員の生徒の指示の下、学級の仲間全員で課題解決を目指し、共に努力していくという流れで活動を設定した。この活動で醸し出される雰囲気を、その後の進路指導や学級経営に生かしたいと考えている。

### 3 指導のねらい

- 話し合いや発表を通して、多様な価値観に触れ、自己の進路選択を見つめ直し、今後の生活の改善を図る。
- 進路決定において大切なものは「学力」だけでなく、個性や自己を磨くことも大切であると気付き、実践することができる。

### 4 評価の観点と評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
将来の生き方や進路に関する興味や関心を広げるとともに、積極的に集団活動や自己の生活の充実・向上に努めようとしている。	将来の自分の生活に生きて働く資質・能力について、学力以外にも様々なことが考えられることに気付き、日常生活の改善を図ろうとしている。	自分自身が、将来、どのような生き方をしていきたいのかを考え、その生き方の実現に向けた進路計画を立てようとしている。

### 5 展開の過程

#### (1) 事前の指導と生徒の活動

期日	活動の場	活動の内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と 評価方法
10月上旬	帰りの会 (学級全員)	○「進路選択上の不安に関するアンケート調査(10月)」の実施	・10月上旬の段階での自分自身の進路に関する不安について、真剣に考えて回答するよう助言する。	・自分自身の進路選択の状況を振り返っている。 (関)【調査】【観察】
10月30日 (金)	学級活動 (学級全員)	○「進路選択で重視するもののランキング調査」の実施	・進路選択において、何を大切にしていきたいか、他者の考えを参考にして、自分の考えを明確にする。	・級友の考えを参考にし、自分の生活に生かし、実践しようとしている。 (思)【ワークシート】
11月上旬	帰りの会	○「進路選択上	・前回のアンケート調査以降	・自分自身の進路選択

	(学級全員)	の不安に関するアンケート調査(11月)の実施	の自分の変化に注意するよう助言する。	の状況を振り返っている。 【関】【調査】【観察】
11月6日(金)	学級活動(学級全員)	○私って誰?	・自分の特性や資質について改めて考え、自分自身を見つめ直すよう言葉掛けをする。	・これまでの活動を基に、自分の個性や適性について、的確に分析している。 【知】【観察】
11月13日(金)	学級活動(学級全員)	○三者面談のシミュレーション	・三者面談に向けて、ゲストティーチャー(教頭)の助言を基に、自分の考えをまとめるよう指導する。	・三者面談の概要(目的や内容)を理解している。 【知】【観察】
11月16日～	三者面談	○進路相談	・今後の具体的な進路決定に向けての方向付けを行う。	
11月20日(金)	学級活動(学級全員)	○教えて!あなたの勉強法	・互いの勉強法について紹介し合うことで、自分の学習法を見直す機会とし、受験期に向けての連帯意識醸成する。	・学級集団の中で、互いに協力し合おうとしている。 【関】【観察】
11月24日(火)	放課後(学級活動委員会)	○本時の活動における役割の確認	・活動のねらいや趣旨を理解させ、教師と生徒がともに考え、活動展開を組み立てていく。	・話し合いを深めようと意欲的に会議に参加している。 【関】【観察】

(2) 本時の指導と生徒の活動

ア 本時の活動テーマ 「将来に生きて働く資質・能力とは」

イ 本時のねらい

○話し合いや発表を通して、多様な価値観に触れ、自己の進路選択を見つめ直し、今後の生活に生かしていく。

○進路の選択・決定において大切なものは、学力(学習成績=得点・点数)だけではなく、個性や自己を磨くことも、大切なものであることに気付く。

ウ 本時の展開

	活動の内容	・指導上の留意点 ○目指す生徒の姿(観点)【評価方法】	資料等
活動の開始	<p>—教師の話—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめの言葉</li> <li>・学級活動委員の紹介</li> </ul>	<p>◎本時の話し合いを生徒主体のもの(自分たちもの)とするために学級活動委員会を機能させ、生徒に進行を任せる旨(趣旨)を説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進行役の生徒が述べる。</li> <li>・進行役、記録、役割演技を担当する生徒が、順に自己紹介を行う。</li> </ul> <p>◎以下、生徒の進行とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの活動を振り返り、自分たちが進路選択に当たって重視していること、不安を感じていることを確認する(学級活動委員によるアンケート調査の集計結果発表)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査結果の表</li> <li>・進路選択上の不安</li> </ul>

	<p>(教師からの問題提起)</p> <p>2 本時の活動を知る。</p> <p>3 本時の流れの確認</p>	<p>※いずれも学力(学習成績=得点・点数)を気にする傾向が強い。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教師から、進路選択において学力(学習成績=得点・点数)以外にも重視すべきことがないかを問い掛ける。</li> <li>教師が本時のねらいを説明する。</li> </ul> <p style="background-color: yellow; text-align: center;"><b>本時の活動テーマ:「将来に生きて働く資質・能力とは」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学級活動委員(進行役)が、これから行うロールプレイ(役割演技)「事業所の採用選考面接」について、その方法、留意点を説明する。</li> <li>教師が補足説明を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路選択で重視するもの</li> <li>ワークシート</li> </ul>
<p>活動の展開</p>	<p>4 ロールプレイ(役割演技)「事業所の採用選考会議」を観る。</p> <p>5 ロールプレイ(役割演技)を</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級活動委員の進行により役割演技を行うが、教師は必要に応じて指導助言を行う。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; background-color: #e0ffe0; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>ロールプレイ(役割演技)「事業所の採用選考面接」</b></p> <p><b>【設定】</b> ある事業所の採用試験で、5名の受験生(A、B、C、D、E)が残った。しかし、採用枠は3名となっている。 この採用選考会議で5名のうち、3名の採用を決定する。</p> <p><b>【役割演技】学級活動委員が演技、他は演技を観る。</b> 採用選考の面接形式で、A～Eの5名の紹介を行う(面接官と受験生のQ&amp;A方式)。</p> <p>A…人と話すのが苦手。優柔不断で決断力が弱い。情報処理が得意。アイデアが豊富。</p> <p>B…声が小さい。穏やかで物静か。英語に堪能。神経が細やか。</p> <p>C…明朗快活。言葉遣いがややおかしい。人付き合いが上手。一度他の職業に就いたが、自分に合わず退職。</p> <p>D…身なりがだらしない。シャツのボタンをしていない。学生時はアルバイト中心で部活動は参加しなかった。</p> <p>E…はっきりとした受け答え。芯が強い。言動に思いやりがある。受験での不合格を体験。ボランティア活動に参加。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人が役割演技に基づき、正式に採用したい受験生を選ぶ。その際、理由をしっかりと考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> <li>発表用の黒板掲示物</li> </ul>

	<p>観て、個人で考えて、5名のうち3名の採用候補者を挙げる。</p> <p>6 グループで「採用選考会議」を行い、班員の話合いによって3名の採用候補者を決定する。</p> <p>7 グループでの話合いの結果を班ごとに発表する。</p>	<p>○将来の生活において大切な資質・能力は、学力だけではないことに気付き、他に何を重視したらよいか考えている。 (思)【観察】</p> <p>・学級活動委員(進行役)からの指示を聞き、グループでの話合い「採用選考会議」を始める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0f7fa;"> <p style="text-align: center;"><b>グループでの話合い「採用選考会議」</b></p> <p><b>【手順】</b></p> <p>(1) グループ内で、各自がどのように選考したかを発表し合う。</p> <p>(2) 意見を発表し合い、全員が納得する結論を出す。</p> <p>(3) グループごとに導き出した結果を発表する。活動を通して感じたことや会社に必要な人材について考えたことを発表する。</p> <p><b>【注意点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループとも、一人一人が順番に自分が選んだ人材と判断した理由を言う(それぞれの意見を最後までよく聞く)。</li> <li>・個人の考えを発表した後は、順番に自分の意見や考えを言う。</li> <li>・他の人の考えや意見交換を通じて、感じたことや参考になったことをメモしておく。</li> <li>・グループの意見をまとめ、3名の正式採用者を決定する。</li> </ul> </div> <p>・班長が、正式に採用する人材と選考した理由について簡潔に発表する。</p> <p>・採用の決め手となった理由を分類し、学力以外にも重視するポイントがあったことに気付かせる。</p>	
<p>活動のまとめ</p>	<p>8 VTR「事業所の人事担当職員の話」を視聴する。</p> <p>9 自己評価</p> <p>10 教師の話</p>	<p>・実際に事業所で人事を担当している方の話を聞き、自分の考え方との矛盾点などに気付き、「将来に生きて働く資質・能力」についての考えをまとめる。</p> <p>・本時の活動を通して、今後の自分の生活で、学習とともに、どのようなことを意識するとよいかを考え、自身の目標を決定し、ワークシートに記入する。</p> <p>○多様な価値観に触れた中で、自己の進路選択を見つめ直し、今後の自分の生活の充実・向上を図っている。 (関)【ワークシート】</p> <p>・生徒の意見を踏まえて、今後どのように生活していく</p>	<p>・電子黒板(映像)</p> <p>・ワークシート</p>

		か、具体的に考えていくことの必要性を説き、事後の活動へつなげる。	
--	--	----------------------------------	--

(3) 事後の指導と生徒の活動

期日	活動の場	活動の内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価の方法
12月4日 (金)	学級活動 (学級全員)	・卒業カレンダー	・本時の活動を踏まえ、今後の進路計画を見直す。	・自分の生活を振り返り、これからの見通しをもつ。 (思)【観察】
12月中旬	放課後	・校長面接	・これまでの活動を踏まえ、自分をどのようにアピールするかを考え、実践する。	